

# 地域包括ケアシステムにおける歯科医師の役割

～摂食困難者、認知症高齢者への対応で歯科はどう地域と連携するのか?～

講師



日本歯科大学大学院生命歯学研究科 臨床口腔機能学 教授  
口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長

菊谷 武 先生 (77回卒)

略歴

1988年 日本歯科大学歯学部卒業  
2001年10月 附属病院 口腔介護・リハビリテーションセンター センター長  
2005年 4月 助教授  
2010年 4月 教授  
2010年 6月 大学院生命歯学研究科臨床口腔機能学教授  
2012年 1月 東京医科大学兼任教授  
2012年10月 口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長

超高齢社会を迎えた今日、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援を目的とした取り組みが始まっている。高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう地域の包括的な支援・サービス提供体制を構築するものであり、これが地域包括ケアシステムである。「介護」、「医療」、「予防」の専門的なサービスと、基盤となる「住まい」、「生活支援・福祉サービス」が相互に関係し、連携することで在宅生活を支援することとしている。歯科においては口腔機能を維持することで、「食べる」に対する支援が求められる。

本講演では、私たちが行っている在宅訪問診療から見てきた地域との関わりやその仕組みを紹介し、地域での多職種連携で現在、歯科が求められている地域支援を考えていきたいと思う。さらには、今、対応が求められている、認知症高齢者への対応、オーラルフレイル、口腔機能低下症にたいする理解を深めるために、情報提供を行う予定である。

日時

平成29年

11月16日(木) 午後7時

会場

日本歯科大学生命歯学部 九段ホール講堂

※当日は日歯生涯研修個人ICカードをご持参ください。  
※研修コード2107 単位数3 短縮コード152479